

～ クラブの方針 ～

【 チームスローガン 】

《 全員野球 継続は力なり！ 》

【 活動方針 】

ボランティア精神、学業を最優先とし、野球を愛好する少年になること。

硬式野球：集団生活を通じて「挨拶：礼儀：マナー：道具の大切さ」を学び、
感謝：謙虚の精神を実践することを活動の方針とする。

【 日常生活で心がける5ヶ条 】

1. 元気に大きな声で挨拶する。
2. 整理整頓。掃除をしっかりとる。
3. 学校の規則を必ず守る。且つ他の生徒の模範となる。
4. 自分の行動に責任を持つ。
5. 野球をさせてくれる家族に対して感謝の気持ちを絶対に忘れないこと！

【 指導方針 】

1. 学業優先

野球をする前に中学生としての本分は学業です。学校行事は最優先として考えます。あくまでも学生である事を忘れず、勉強との両立を目指します。
※各学期末に成績表の提出をしていただきます。

2. 礼儀、礼節を大切にする

挨拶、言葉使い、礼儀は野球の世界だけでなく人間社会の基本です。誰に対しても気持ちよく大きな声で挨拶、返事できる様にします。グラウンド内では駆け足でキビキビと行動し、全力でプレーする。道具やグラウンドを大切に使用するよう指導します。

3. ケガ、故障を防ぐ

中学硬式は成長過程の子供たちの肘、肩に与える負担が大きく故障してしまう可能性があります。大好きな野球を永く続けて『高校で甲子園を目指す！』『更なる上（プロ）を目指す！』子供たちにおいて、故障して野球を断念する事だけはしたくありません。硬式野球にケガや故障はつきものだと言ってしまえばそれまでですが、子供たちには無理はさせず、ケガや故障を防ぐ努力をします。チーム専属トレーナーによる身体のケアも十分に行います。その他にもスポーツ栄養士による身体づくりの食事方法の講習会も考えております。

4. 勝つことも大事ですが、目的は硬式野球を通じての人間形成

勝つことも野球にとって大切な事ですが、勝つことにこだわり過ぎれば子供たちの身体を損ねてしまいます。決して勝つことを疎かにするつもりはありません。ただ大きな代償を払ってまで勝つ必要性はないと考えています。勝利至上主義に走らず、基本技術が習得できるよう、個別指導にも力を注入し個々の技術力アップを図ります。高校、大学でも通じる野球を指導したいと考えています。

☆ 子供と共に歩み・共に生き・共に感動を味わうことをモットーに指導育成をする。

ここに「活動方針」「日常生活で心がける5ヶ条」「指導方針」を記載しました。

野球はスポーツ。勝負の世界。勝ち負けにこだわらないと言えば嘘になると思います。

しかしそれだけのために野球をするのではないと捉えております。

クラブでは野球を通して仲間を思う気持ちや協調性を養い、感謝の気持ちを大切にすることを目的とし、また、野球をする前に中学校の学生で在ることを忘れず規律ある態度、学校生活を送ることが大切だと考えます。

万が一学校での生活態度、学業面での学校からの呼び出し等受けることがあれば練習、試合には参加させません。また、チームとして連帯責任をとってもらう事となります。自分一人だけではなくチームの一員としての自覚を持ち、野球の時だけでなく日々の生活でも自分に厳しく規律ある生活を心がけるよう徹底していきたい所存です。

中学生という思春期を迎え大人となる前の大切な時期と捉えております。子供達には野球から多くを学んでほしいと願い方針をここに策定致しました。

ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

丹波ベースボールクラブ

運営スタッフ：指導者一同